2020年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修

事前課題

児発管太君について

【プロフィール】

氏名：　　　　　　　　　　　　　　性別：男児

生年月日：2013年（平成25年）10月30日　年齢：6歳5カ月（2020年3月末時点）

家族構成：父（会社員）、母（専業主婦）、本児の3名。市内に母方祖母がいる。

受診医療機関：とちぎ小児科医院（小児神経）　１回／月の定期通院（主に面談）継続中。

医師所見：田中ビネーIQ68、気持ちの表現、コントロール（待つ力）に課題がある。

【現在に至るまでの経緯】

本児3歳時より市内の保育園に就園（通常保育）。健診の際に、発達の遅れを指摘されることがあったが、両親は「そんなはずはない」と特に何も受けることはなかった。そんな中、園で気持ちをうまく表現できないことから、お友だちを叩くことが毎日のように見られ、活動場面でも待つことが苦手で落ち着きのない様子が伺えるようになった。

連絡帳に毎回その報告があり、母は保育園に行くことが徐々に億劫になって、思い悩んでいたため本児が年長時の2019年（平成31年）、園から市のこども課に相談するよう助言を受ける。市の保健師より児童発達支援の情報を聞き、見学。見学後、利用を希望。市内の相談支援事業所に計画相談を依頼。児童支援利用計画書（サービス等利用計画書）を作成して同年の10月1日付で支給決定を受けた。

支給決定を受けて児童発達支援事業所の利用を開始。本児への支援や両親も含めた各種トレーニング等を実施しつつ保育所等訪問支援で保育所側への助言も行い、発達や課題の緩和が伺えるようになった。

就学を控え、教育支援委員会や各種トレーニング等を経て情緒学級への就学が決定された。まもなく迎える2020年3月末には、児童発達支援の利用が終了し、4月より市内小学校の情緒学級に入学することになっている。

事業所を利用している頃から同じ系列の放課後等デイサービス（隣の建物に設置されている）に興味を持っていたこともあり、入学とともにその放課後等デイサービスの利用希望が出る。利用に向け、現時点で児童支援利用計画書も新たに作成され、児童発達支援事業所の終了時評価も作成されて準備が整いつつある。

**あなたは放課後等デイサービス事業所のサビ児管（児童発達支援管理責任者・サービス管理責任者）の立場となって事前課題に取り組んでください。サビ児管であるあなたは、管太君を受け入れるにあたり、どのように利用するか、どのような支援を行うのかを記載する「個別支援計画」を作成することになります。その事前課題として「児発管太君の情報シート」「児童発達支援事業所の終了時評価」「放課後等デイサービスを利用するにあたっての児童支援利用計画書」を読み込み、そこから見える管太君のニーズの整理を行い、「本人の状態を把握するためのイメージ図」に記載してきてください。**